

2026年2月27日

各 位

会社名	株式会社ベクトル		
代表者名	代表取締役会長兼社長 CEO	西江	肇司
	(コード番号：6058 東証プライム)		
問い合わせ先	代表取締役副社長 CFO	後藤	洋介
電話番号	03-5572-6080		

連結子会社（株式会社ビタブリッドジャパン）の上場承認のお知らせ

本日、株式会社東京証券取引所より、当社の連結子会社である株式会社ビタブリッドジャパン（以下「ビタブリッドジャパン」といいます。）の東京証券取引所グロース市場への新規上場が承認されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. ビタブリッドジャパンの上場について

(1) 当社グループにおけるビタブリッドジャパンの位置づけ

当社グループは、顧客の「いいモノを世の中に広める」ためのマーケティング戦略をワンストップで総合的にサポートする「FAST COMPANY」というコンセプトのもとで、戦略PR等の既存サービスを運営提供するグループ会社に加えて、新しいサービスを運営する会社を設立し、または買収等によりグループ会社化することによって、当社グループ全体としてのサービスの拡充と体制の整備を推し進めてきました。

そのような戦略の一環として、当社グループ内のダイレクトマーケティング事業を行うことを目的とした D2C プロデュースカンパニーの設立を構想している中、HYUNDAI BIOSCIENCE CO., LTD.が保有する特許技術「ビタブリッドC」に着目したことを契機とし、2014年4月にビタブリッドジャパンを設立いたしました。

その後、同社は、糖や脂肪の吸収を抑えるサプリメント「ターミナリアファースト」、睡眠の質を向上させ、ストレスや疲労感など現代人の抱える不調の緩和をサポートする「Vitabrid Daily GABA」など、商品ラインナップを拡充し、国内 D2C 領域において存在感を有する規模に成長いたしました。

当社グループは、ビタブリッドジャパンの成長を、顧客の「いいモノを世の中に広める」ためのワンストップ・マーケティング戦略の有効性を実証する「成功モデル」と位置付けております。同社が当社グループ内で持続的な成長を遂げることは、当社の提供価値を社内外に示す象徴的な事例となり、ひいてはグループ全体の企業価値向上に資するものと考えております。

(2) 上場の目的

ビタブリッドジャパンが上場会社として発展を遂げることは、同社における知名度や社会的信用力の向上、優秀な人材の確保、業界トップクラスの上場会社としての役職員のモチベーションの維持や向上にも資するとともに、上場会社として独立した経営体制のもとで機動的な事業運営

を行うことにより、業界内での優位性をさらに高めながら事業の強化と成長を加速する機会を確保し、同社を含む当社グループ全体としての競争優位性の強化につながるものと考えております。

(3) 上場後のビタブリッドジャパン株式の保有方針

ビタブリッドジャパン上場後において、当社の株式保有割合は低下しますが、同社を連結子会社として資本関係を維持し、当社グループ全体の成長を推進していく予定です。一方、株式上場後は更なる独立性が求められることから、今後より一層ビタブリッドジャパンの独立性を尊重し、自律的な経営を行うことを支持してまいります。

2. ビタブリッドジャパンの概要

(1) 会社名	株式会社ビタブリッドジャパン	
(2) 本社所在地	東京都港区赤坂五丁目3番1号	
(3) 設立	2014年4月	
(4) 代表者	代表取締役社長 CEO 大塚 博史	
(5) 資本金	105百万円(2026年2月27日現在)	
(6) 事業内容	ウエルネスケア関連の商品企画・開発・D2C販売	
(7) 従業員数	92名(2026年1月31日現在)	
(8) 大株主及び持株比率	㈱ベクトル 95.4% HYUNDAI BIOSCIENCE CO., LTD. 4.6%	
(9) 当社と当該会社との間の関係	資本関係	当社は、当該会社の議決権の95.4%を保有しております。
	人的関係	当社の取締役1名が当該会社の監査役を兼任しております。
	取引関係	該当事項はありません。なお、当社の連結子会社と当該会社との間に、マーケティング支援やシステム利用及びコンサルティングに関する取引があります。

3. 上場に伴うビタブリッドジャパン株式の募集・売出しの概要

(1) 公募(自己株式の処分) : 1,640,000株

(2) オーバーアロットメントによる売出し(※) : 246,000株(上限)

(3) 受渡期日 : 2026年4月2日

(※) 引受人の買取引受による募集にあたっては、その需要状況を勘案し、株式会社SBI証券が、当社から246,000株を上限として借受けるビタブリッドジャパン株式のオーバーアロットメントによる売出しを行う場合があります。これに関連して、当社は株式会社SBI証券に対し、オーバーアロットメントによる売出しのために借受けた株式の返還を目的として、ビタブリッドジャパンが実施する第三者割当増資の割当を受ける権利(グリーンシュエアオプション)を付与することに合意しております。

4. 当社の保有株式数及び議決権割合

	所有株式数	議決権割合
上場前	3,600,000株	95.4%
上場後	3,600,000株	66.5%

(注) 上場後の所有株式数及び議決権割合は、ビタブリッドジャパン株式のオーバーアロットメントによる売出しが上限の株式数にて実施され、当該上限数にてグリーンシュエアオプションが全て行使されなかった場合の所有株式数及び議決権割合です。グリーンシュエアオプションが全て行使された場合は希薄化し、議決権割合は63.6%となります。

5. 当社グループにおける子会社上場に対する考え方

当社グループの中核事業は戦略PRサービスであり、それが当社の企業価値の源泉であると考えておりますので、当社グループにおいて戦略PRサービスの実行部隊であるグループ会社（株式会社アンティル、株式会社プラチナム、株式会社イニシャル）の株式上場は予定しておりません。一方、それら戦略PR事業グループ会社以外の、戦略PRとは一線を画する独自の分野のサービスを提供するグループ会社については、株式を上場させることまたは上場グループ会社として維持することは、当社グループ運営に関わる選択肢として検討されるべき事項であると考えており、当社の既存の株主や対象となるグループ会社の少数株主の利益を損なうことのないように配慮しながら、主に当社および当該グループ会社の企業価値の向上または維持に資するかという観点で判断をすることとしています。

6. 今後の見通し

本件株式募集・売出しに関して、当連結会計年度の連結業績に与える影響はありません。

次期連結会計年度以降については、公募による自己株式の処分等に伴い、当社のビタブリッドジャパンに対する持分比率が現在の95.4%から66.5%（注2）へと低下する見込みです。これに伴い、連結決算における親会社株主に帰属する当期純利益へのビタブリッドジャパンの貢献額は持分低下分に相当する減少が見込まれます。

本件実施による連結損益計算書上の売却益等の利益計上はありませんが、ビタブリッドジャパンが調達資金をマーケティング費用等へ投じ、独立した上場企業としてさらなる事業成長を実現することで、中長期的なグループ全体の企業価値向上を目指してまいります。

(注) 2. オーバーアロットメントによる売出しが上限まで実施され、グリーンシュエアオプションが全て行使された場合は63.6%となります。

以 上

ご注意：この文書は、ビタブリッドジャパン株式の東京証券取引所への上場承認について一般に公表することのみを目的とするものであり、日本国内外を問わず投資勧誘等を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ずビタブリッドジャパンが作成する「自己株式の処分並びに株式売出届出目論見書」並びに訂正事項分をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いします。「自己株式の処分並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）のご請求や応募方法の問い合わせは、引受証券会社までお願いします。